

◆第二期宮城県地域医療再生計画(平成23年度－平成25年度)

[国平成22年度補正予算(平成23年度へ繰越)に対応]

◆宮城県地域医療復興計画(平成24年度－平成27年度)

[国平成23年度第三次補正予算に対応]

◆第二期宮城県地域医療復興計画(平成25年度－平成27年度)

[国平成24年度東日本大震災復興特別会計予備費に対応]

1 課題と方向性

全県的視野での医療再生に向けた課題

- 医療従事者の不足・偏在の解消
- 高次救急機能強化と初期救急の充実
- 安心できる周産期・小児医療体制
- がん医療等の体制強化
- 地域医療連携の一層の促進

東日本大震災(平成23年3月11日)の影響

- ◆ 甚大な被害を受けた施設の再開促進
- ◆ 医療従事者の確保・流出防止
- ◆ 県全域及び各圏域における連携と分担の強化
- ◆ 魅力ある医療従事者育成環境の形成

「新たな地域医療再生計画」案
— 主な事業の柱立て —
(大震災前における検討)

- ・ 救急・災害医療の充実
- ・ 小児・周産期医療の充実
- ・ がん、在宅医療、地域連携
- ・ 医療を支える人材の育成

地域医療復興の方向性(平成23年9月)

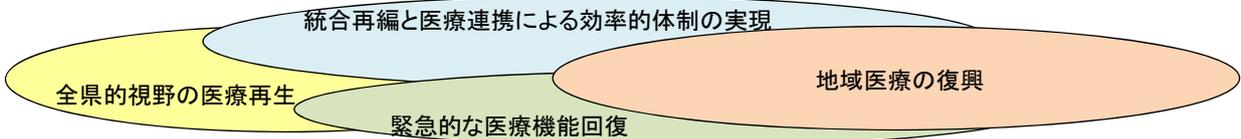
【短期的課題】

医療救護班の確保、仮設診療所等の設置、入院病床の確保、心のケア、医療従事者の雇用確保と流出防止対策、医療機関早期再開に向けた対策等

【中・長期的課題】

- 1 自治体病院等の統合・再編等による医療資源の再配置
(全県的視野で、被災地の病院等の再建、集約化と機能分担)
- 2 地域医療連携体制の構築・強化(ICTを活用した地域医療連携システム等)
- 3 医療人材確保に向けた対策(大学、関係団体等との連携による確保策等)

2 計画の趣旨と対象地域



再生と復興は密接に関連することから、三計画を一体的に策定

広域的な医療提供体制に係る課題解決

- 救急・災害医療
- 小児・周産期医療
- がん医療等
- 地域医療連携
- 人材育成

被災医療機関の再建等

第二期地域医療再生計画

対象地域: 三次医療圏(全県)

期間: 平成23年度－平成25年度

甚大な被害を受けた地域における医療提供体制の再構築

- 1 病院統合再編等の医療資源再配置
- 2 地域医療連携体制の構築・強化
- 3 医療人材確保対策

- 1 医療提供体制の復興
- 2 被災医療機関の復旧・復興
- 3 医療人材確保対策
- 4 地域医療連携体制の構築・強化
- 5 災害医療体制の整備

地域医療復興計画

第二期地域医療復興計画

対象地域: 沿岸部の二次医療圏

- 気仙沼医療圏(1市1町)
人口 86千人(H23.12月末)
- 石巻医療圏(2市1町)
人口 202千人(H23.12月末)
- 仙台医療圏(5市8町1村)
人口1,466千人(H23.12月末)

期間: 平成24年度－平成27年度

期間: 平成25年度－平成27年度



3 具体的な施策（各事業別の金額は地域医療再生基金充当予定額）

◇第二期宮城県地域医療再生計画（平成23年度－平成25年度）

事業費 187億円（うち地域医療再生基金 120億円）

1 医療機関等復旧支援	29億円	病院、診療所（内科、歯科）、薬局等の緊急的機能回復支援
2 救急・災害医療再生	3億円	救急搬送時の12誘導心電図伝送システム 等
3 小児・周産期医療再生	2億円	NICU入院児在宅療養支援、周産期医療情報ネットワーク構築 等
4 がん医療再生	0.3億円	がん検診体制の強化 等
5 地域医療連携推進	4億円	在宅療養支援体制の充実、在宅透析医療推進 等
6 医療従事者育成	14億円	内科・小児科・救急科等の医師育成・配置、乳幼児在宅移行支援 等
7 仙台地域医療再生	10億円	救急医療体制、合併症精神患者医療体制の強化 等
8 県北地域医療再生	1億円	看護学生奨学金 等
9 石巻地域医療再生	56億円	石巻赤十字病院救急医療体制強化 等
10 気仙沼地域医療再生	1億円	気仙沼市立病院医師確保、南三陸町看護師確保 等

◇宮城県地域医療復興計画（平成24年度－平成27年度）

事業費 744億円（うち地域医療再生基金 394億円）

1 自治体病院等の統合・再編等による医療資源の再配置 314億円

－気仙沼医療圏－

◇気仙沼市立病院移転（96億円、他財源と合わせ120億円）

◇公立志津川病院新築（60億円）、拠点薬局整備 ほか

－石巻医療圏－

◇石巻市立病院新築（90億円）、石巻港湾病院移転（8億円）

◇市立（仮設）急患センター等の本格建設、女川町保健センター新築、拠点薬局整備 ほか

－仙台医療圏－

◇仙台医療センター（基幹災害拠点病院）の機能強化（9億円）

◇仙台市立病院（三次救急病院）の機能強化（8億円）

◇東北大学病院（特定機能病院）の機能強化（20億円）

◇二次救急・災害拠点病院の機能強化（宮城病院、東北厚生年金病院、坂病院、仙台社保病院）、亶理町保健センター、塩竈市保健センター、名取市急患センター、眼科医療支援車両

2 地域医療連携体制の構築・強化（ICTを活用した地域医療連携システム等） 36億円

◇地域医療連携支援センター整備（7億円）

◇医療福祉情報ネットワークシステムの構築（29億円）

3 医療人材確保に向けた対策 44億円

◇医療人材の確保（30億円）

◇医学生修学資金（14億円、貸付事業はH36まで予定）

市町村立施設の再建支援についての考え方

・平成23年度の災害復旧国庫補助及び地方財政措置を考慮し、平成24年度以降の再建には地域医療再生基金から手厚い支援が必要。（国庫・地財措置、寄附等の財源確保状況により基金充当額の変更あり。）

・施設の機能や規模等が具体的に決定次第、各年度の基金充当額を変更するもの。

◇第二期宮城県地域医療復興計画（平成25年度－平成27年度）

事業費 716億円（うち地域医療再生基金 135億円）

1 被災地域における医療提供体制の復興 54.2億円

①震災後の建設コスト高騰事業支援

◇石巻赤十字病院（2.2億円）、東北大学病院（0.4億円）、拓桃医療療育センター（7.5億円）、大崎市民病院（20.2億円）

◇石巻港湾病院、宮城病院、名取市休日夜間急患センター、地域医療連携支援センター（6.0億円）

②気仙沼市立病院の移転新築支援（11.9億円）

③全壊病院等の再建に伴う医師宿舎の整備支援

◇石巻市立病院、公立志津川病院、気仙沼市立病院（6.0億円）

2 被災医療機関等の復旧・復興 34.7億円

3 被災地における医療人材確保 36.2億円

①医療人材の確保（流出防止、招致含む）（12億円）

②医学生修学資金の貸付（東北大学定員増分 3.4億円、被災地医師確保分20.8億円）

4 地域医療連携体制の構築・強化 10億円

〔参考〕統合再編と病床削減数について

○医療機能の集約・連携を進めるため、**医療機関の統合再編（診療所化含む。）**に積極的に取り組む。

○計画対象医療機関の全体で、371床以上の**病床削減**を予定。（H25.1月時点見込）